

No. 1444

食品Gメン

おせち料理をはじめ多くの食品が出まわる12月は毎年「食品および添加物の一斉取締り月間」になっています。厚生省ではこの期間、不良食品を排除し、事故を未然に防止するため、食品機動監視員による一斉取締りを実施しています。東京都内でもさっそく食品Gメンが行動開始。監視の対象は、かまぼこ、ハムなど主に加工食品。あやしいとにらんだ食品は衛生研究所に持ち込まれ、分析を行い、違反食品の一扫が計られます。寒い冬でも食中毒は多く発生しています。食品の取扱いには十分注意したいものです。

中曾根内閣スタート

河本経企庁長官、中曾根行管庁長官、中川科学技術庁長官、安倍通産大臣の四候補によって戦われた自民党の総裁予備選は11月23日、郵送による投票が締め切られ、翌24日、東京晴海の東京国際貿易センターで開票された。党员、党友100万人の投票を扱うマンモス開票だけに、作業は世界にも類をみない大がかりなものとなった。鈴木・田中・中曾根の主流三派の全面的な支持を受けた中曾根氏は着実に票を伸ばし約55万9千票で2位の河本氏らに圧勝した。このため、河本・安倍の両氏は国会議員による本選挙への立候補を辞退。自動的に中曾根総裁が決定した。

26日召集された臨時国会の衆参両院本会議で中曾根氏は首相指名を受け、第71代首相に就任した。ひき続き組閣に着手、しかし、注目の法務大臣に田中元首相に近い秦野章氏、官房長官に田中派の懐刀・後藤田氏を起用、さらにロッキード疑獄の灰色高官の一人加藤六月氏も入閣。これに対し、反主流派は強く反ばく、組閣は難航した。田中派が主要なポストを占めた中曾根新内閣、第3次田中内閣とも陰口をいわれる中曾根内閣の前途はスタートから波乱ぶくみだ。

50 12 1 00